

東京地方バプテスト教会連合 定期総会  
議案説明会記録

日時：2024年4月29日(月・祝)13:00-16:00

会場：日本バプテストキリスト教目白ヶ丘教会、オンライン(Zoom 利用)

総会役員 議長：木村一充(栗ヶ沢)、副議長：上原一晃(篠崎)、  
書記：染森哲朗(茂原)、元川信治(千葉)

資料：日本バプテスト連盟東京地方連合 2024 年度定期総会(書面総会)資料  
東京地方連合定期総会事前質問に対する回答  
定期総会資料の正誤表 ※2 か所の修正あり

→17 頁上から 16 行目 誤：コロナ過 正：コロナ渦→コロナ禍 に訂正  
42 頁 誤：受洗者数 正：受侵者数→受浸者数 に訂正

代議員登録：73 名 登録教会：41 教会(54 教会・伝道所中)

※定足数を満たしているので総会成立

第 1 号議案：2023 年度 役員会の活動報告の件

篠松次郎(常盤台、連合会長)より議案説明

※説明内容は総会資料 7~8 頁の通り

質問① 高良研一(恵泉)

・総会資料 12 頁の(2)臨時総会の議決に関する表について：賛成率(含む委任)としている  
点の説明を。 ※事前質問済みだが、回答がない。

回答① 篠松次郎(常盤台、連合会長)

・過半数の賛成が得られているかが確認できればよかったので、必ずしも委任を含めた賛成  
率という情報を提示することはなかったと思う。

意見① 吉高叶(市川八幡)

・連合フェスティバルの開催に感謝。

第 2 号議案：2023 年度 TBA 協力伝道センタープロジェクトの活動報告の件

石井規之(多摩みぎわ)より議案説明

※説明内容は総会資料 13~14 頁を参照

- ・活動計画の内容が過重だった。
- ・「祈りと懇談の夕べ」神学生、教会紹介など。

- ・講演会を開催することはできなかった。
- ・「TBA 協力伝道センターの働きを整理し、発展的に継承し」て伝道委員会の活動にしていく意図については、回答書の質問・回答7を参照。

→総会資料11頁の議決を見ると第6号議案の保留票が多かった。プロジェクト方式というやり方への理解が得られていない表れと見ている。

社会委員会など他の委員会の活動が再開されていく状況もあるので、従来からある伝道委員会という形での働きに引き継いでいくようにしたい。

質問① 岡村直子(東京第一)

- ・総会資料13頁の表で所属が記載されていない方がいる。

回答① 石井規之(多摩みぎわ)

- ・記載漏れである。

意見① 星文也(赤塚)

- ・「祈りと懇談の夕べ」に参加して感動した。一方で、参加者が少なかった。より多くの方が参加しやすくなるような工夫が必要ではないか。

応答① 石井規之(多摩みぎわ)

- ・時間帯のことも含めて、アイデアを募りながら、みんなで作り上げていきたい。

### 第3号議案：2023年度 各委員会等の活動報告の件

委員会等より議案説明

※説明内容は総会資料16～25頁を参照

壮年連合：山田誠一(大井)

女性委員会： ※当初、担当者不在。会場でのやり取りの後、瀬戸川美奈(恵泉)が報告

青年・少年少女委員会：竹下達也(恵泉、連合書記)

東京北教会 全国支援・地域協働プロジェクト：細井留美(東京北)

補足説明：篠松次郎(常盤台、連合会長)

- ・2022年度以降の議案の出し方として、以前は連合全体の活動報告・活動計画としていたものを役員会と各プロジェクトの活動報告・活動計画という形式に改めた。今後、このやり方については、検討していきたい。

質問① 岡村直子(東京第一)

- ・女性委員会からの報告はないのか。
- ・連合総会なので、誰か担当を立てて報告してほしい。

回答①、報告 瀬戸川美奈(恵泉)

- ・2024年度の女性連合の執行委員だが、2023年度は陪席をしていた。
- ・担当者欠席の理由は聞いていない。
- ・今月の委員会で今回のことを共有して、以後、欠席のないようにしたい。  
→その後、議長の要請により、活動報告。

意見① 高良研一(恵泉)

- ・報告資料を作成した本人が、総会での各委員会等の報告をすることを徹底したらどうか。

第4号議案：2023年度決算報告、および監査報告の件

※説明内容は総会資料27～30頁を参照

松田俊介(目白ヶ丘、会計)より会計報告

小松澤一恵(目白ヶ丘、監査)より監査報告(会計・業務)

質問なし

意見① 高良研一(恵泉)

- ・一般会計と協力伝道会計を分ける必要性はあるのだろうか。繰越金などわかりにくい。
- ・監査報告書の記載日時の整合性がとれていないのではないか。  
→報告書作成日時は2024年3月30日となっているが、文章中の通帳確認の日時は4月1日となっている。

応答① 篠松次郎(常盤台、連合会長)

- ・監査報告書の日時の整合性については、正誤表で修正している。

応答② 松田俊介(目白ヶ丘、会計)

- ・繰越金総額は、決算・予算書の一番下に欄を設けて記載している。
- ・一般会計は、支出が読めるもので構成されており、予算と決算の差異が小さい。  
一方、協力伝道会計は、予算作成時には具体化できず、これから細かい支出について詰めていくことになる。よって、会計上の事情から、差異の小さいもの(一般会計)と大きいもの(協力伝道会計)として分けている。

第5号議案：連合役員候補者選出の件

城倉啓(泉・候補者選考委員)より議案説明

※説明内容は総会資料5頁を参照

質問・意見なし

## 第 6 号議案：2024 年度 役員会の活動方針の件

篠松次郎(常盤台、連合会長)より議案説明

※説明内容は総会資料 14～15 頁を参照

- ・活動を再開する各委員会をサポートしていきたい。
- ・宣教会議(11/23)を開催する。
- ・神学校デイ：神奈川連合主催(9/23) ※神奈川連合の集いに合わせて
- ・規約改正後の諸規定の見直しをしていきたい。

意見① 吉高叶(市川八幡)

- ・連合役員候補者の選考に当たって、ジェンダーバランスを考慮する必要があるのでは。  
→今回の四役候補者はすべて男性。
- ・教役者や信徒が混在しながら集まっている場面では「さん」付けで統一してはどうか。

応答① 篠松次郎(常盤台、連合会長)

- ・これ以降、「さん」付けをしたほうがよいと考える。

応答② 城倉啓(泉・候補者選考委員)

- ・ジェンダーバランスを考慮する点については賛同。
- ・今回、継続的に担ってくださる方がいると連合の活動が安定的になるという観点からの人選となった。

応答③ 福田佑次(東京西)

- ・「さん」付けについては賛同。関東プレインズ教会にいた時には、「ブラザー」と呼び合っていた。

応答④ 岡村直子(東京第一)

- ・「ブラザー」、「シスター」呼びだと男性、女性を明確に区分することになる。「さん」付けだと誰に対しても用いることができるので、そちらの方がよいと思う。

応答⑤ 福田佑次(東京西)

- ・岡村さんの意見に賛成。

## 第 7 号議案：2024 年度 各委員会等の活動方針の件

※説明内容は総会資料 15～27 頁を参照

伝道委員会：石井規之(多摩みぎわ)

- ・2024 年度は TBA 協力伝道センターから伝道委員会という形で活動。
- ・3つの活動(①「祈りと懇談の夕べ」②教会・伝道所訪問③宣教会議の企画・実行)

壮年連合：山田誠一(大井)

- ・東京地方壮年連合総会(11/23 午前中)を開催。

女性委員会：瀬戸川美奈(恵泉)

- ・一日小羊会(7/13) 於：大井バプテスト教会 講師は決定済。
- ・女性連合総会(オンラインと対面、12月に開催)
- ・過渡期にあるため、秋の集いは休止。女性連合総会のサテライトでの代替を検討。

青年・少年少女委員会：郷健人(常盤台)

- ・夏のキャンプは行わない。  
→連盟主催の「ユースキャンプ(旧・全国少年少女大会)が開催されるため。
- ・青少年たちが出会い、主体的に活動できるような環境などの醸成。

社会委員会：藤田直彦(恵泉)

- ・連盟の特別委員会や NCC などの活動と連帯しながら、情報発信・交換する。  
→教会掲示板に貼れるような新聞を発行。

LINE グループを作って情報発信。

東京北教会 全国支援・地域協働プロジェクト：細井留美(東京北)

※回答書の質問・回答⑧を参照

- ・今年度を含めてあと3年。
- ・プロジェクト終了後の形を模索中。
- ・多種多様な人々の居場所となるような教会を目指している。

質問① 佐藤彬(花野井)

- ・伝道委員会の教会・伝道所訪問について：課題を諸教会と共有するのであれば、教会規模は関係ないのではないか。
- ・訪問は、教会・伝道所の要請に応じてなのか、委員会から押しかけるような形なのか。

回答① 石井規之(多摩みぎわ)

- ・まず訪問して一緒に礼拝することを基本としたい。
- ・特に西地区では、小規模教会との関わりが希薄だという実状があるように思う。
- ・訪問については、要請を受けて、あるいは委員会からの提案の両方を想定している。

回答② 篠松次郎(常盤台、連合会長)

- ・教会規模は関係ないと思っている。  
→一教会では解決が難しい課題に協働して取り組んだり、地域協働委員会とも連携して回転資金へつないだりなど、連盟・連合・諸教会の関わりの中で一緒に祈っていきたい。

意見① 吉高叶(市川八幡)

- ・伝道委員会の「祈りと懇談の夕べ」について：根気よく続けてくださっていることに感謝。開催時間の問題もあるが、伝道というテーマの下で証しに立っていく人が、教役者、神学生、ビジネスパーソンという順番になっているところに伝道ということと伝道を担う

という人たちへの価値付けが強く出ているように思われる。

・今この時代の中で、人々が何に苦しんだり、悲しんだりしているのか、イエスさまや神さまに何を叫んでいるのかを聞いて、祈り、伝道をどうしていくか懇談するようなものになれば、もう少し関心が持てるものになるように思う。

・開会礼拝メッセージ(マルコ 2:1-5)から、「私たちは病の人を運んだ4人だ」ということはよく分かるが、運ぶ4人にスポットを当ててではなく、倒れている運ばれる必要のある人は誰なのか、にもっと注意を払っていくことを日頃から心がけられたらよいな、と思っている。

・上記のような点を反映して、宣教会議で「今日、関東で一緒に協力伝道するって何だろう」というような話し合いができれば、と願っている。

応答① 石井規之(多摩みぎわ)

・様々な意見をいただきながら、形作っていきたい。

#### 第8号議案：2024年度 予算案の件

松田俊介(目白ヶ丘、会計)より議案説明

※説明内容は総会資料 27～29 頁を参照

- ・「TBA 宣教センターPJ」の支出科目を削除。
- ・各委員会は活動方針を提示しているものの詳細は未決のため、5万円ずつ計上。超過分は、委員会活動費として申請してもらう。
- ・2つの活動予備費が設けられているが、全体をカバーするものと委員会用のもの。
- ・活動支援献金として 30 万円を見込んでいる。

質問・意見なし

#### 第9号議案：東京バプテスト神学校 2023年度の活動報告と決算見通し、および2022年度の決算・監査報告の件

藤井秀一(花小金井、神学校校長)より議案説明

※説明内容は総会資料 32～40 頁を参照

- ・2023年度は学生数 22 名でスタート。
- ・スタッフ 3 名(校長、教務主任、学生主任)の交代があった。
- ・2025年度から施行する新カリキュラムに向けての協議を開始。  
→「みんなの神学校」がコンセプト。  
本科 3 年、専攻科 2 年→本科 2 年、専攻科 3 年へ。
- ・2023年度は教会音楽科の授業を大井バプテスト教会で実施。

- ・神学校の移転計画の検討を開始。  
→茗荷谷キリスト教会との契約は2026年3月まで。
- ・2023年度の収支は黒字になっている。

質問・意見なし

#### 第10号議案：東京バプテスト神学校 2024年度の活動計画、および予算案の件

藤井秀一(花小金井、神学校校長)より議案説明

※説明内容は総会資料35～39頁を参照

・後援会のオンライン月々支援(1口500円)が、これからの神学校の働きを支えるものとなることを期待している。

村上千代(泉、神学校事務長)より補足説明

・宮下めぐみさんの推薦教会について

※正しくは、日本福音キリスト連盟→日本福音キリスト教会連合(JECA)と思われるが、本人確認はとれていない。

質問① 平尾輝明(茗荷谷)

・2024年度予算上は予備費を含めて100万円の赤字となっているが、2023年度予算と実績+見込みは58万円の赤字予想に対して、90万円以上の黒字となっている。2024年度も同様に黒字になるということか。

回答① 藤井秀一(花小金井、神学校校長)

・予備費の30万は移転費用として計上している。

・2023年度中は教会音楽科の授業が開講されなかったりしたため支出が減ったが、2024年度は学生が与えられ、開講されることになる。

#### 第11号議案：2024年度総会役員選出の件

篠松次郎(常盤台、連合会長)より議案説明

総会役員任期について

議長：秋山献一(三鷹)、副議長：岡田千尋(調布)、

書記：小林亜矢子(多摩みぎわ)、木村晋治(中野)

※今年度は西ブロックから。次年度は南ブロックからの推薦を予定。

総会役員任期については、連合規約第22条3項にあるように、「選任された定期総会終了時から、次回定期総会終了時まで」となっている。

質問・意見なし

第 12 号議案：次年度、総会日程の件

竹下達也(恵泉、連合書記) より議案説明

- ・ 2025 年 4 月 29 日(火・祝)を提案。

質問① 岡村直子(東京第一)

・ これまで、ずっと 4 月 29 日に総会を開催してきたのだと思うが、今回は総会報告者の中  
に出席できなかった方がいた。日曜日午後の開催にするなどを検討する余地はないか。

回答① 篠松次郎(常盤台、連合会長)

- ・ 貴重な意見として承った。

質問② 村上千代(泉)

- ・ 来年度の定期総会は、対面で開催されるのか。

応答② 篠松次郎(常盤台、連合会長)

・ 対面開催の要望が多いので、来年度は対面開催としたい。ハイブリッド(対面とオンライン併用)にするかどうかは、今後の検討課題とする。